

令和2年度 自己評価集計結果

回答人数	27	人	<評価方法> 4…3点、3…2点、2…1点、1…0点	
------	----	---	-------------------------------	--

1 園の保育理念、保育方針・保育目標の理解について（3項目）

	4	3	2	1
合計	13	55	13	0
点数	39	110	13	0

2 保育について（11項目）

	4	3	2	1
合計	48	166	70	7
点数	144	332	70	0

3 保健衛生（4項目）

	4	3	2	1
合計	34	64	8	2
点数	102	128	8	0

4 食育について（5項目）

	4	3	2	1
合計	29	48	39	13
点数	87	96	39	0

5 体育について（5項目）

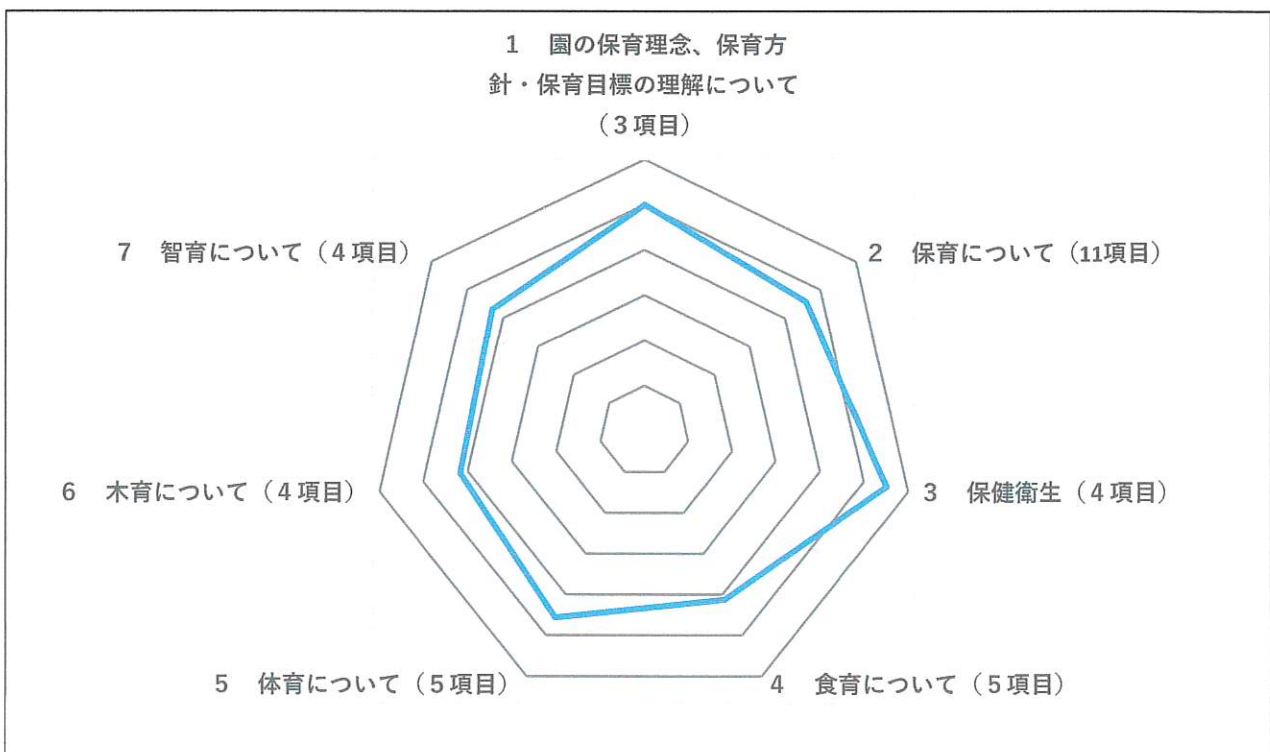
	4	3	2	1
合計	16	85	28	6
点数	48	170	28	0

6 木育について（4項目）

	4	3	2	1
合計	7	64	31	6
点数	21	128	31	0

7 智育について（4項目）

	4	3	2	1
合計	14	57	30	7
点数	42	114	30	0



みなみこども園

全体評価

- ・回答例で「一部検討をようする、考えているが実践していない、よくわからない」という回答が体育、智育、木育、食育の項目において多くみられる、全体的に食育、木育の評価が低くなっている。
- ・園の保育理念、保育方針、保育目標について、理解でき保育に反映されている。
- ・保健衛生における、子ども理解はできており、園での生活のしやすさ等も共有する事ができている。
- ・体育は、日ごろの体作りの実践が、評価の中にも反映されていた。
- ・木育については、よくわからない、努力したいという評価が多く職員の興味、関心をどのように引き出すかという事も評価のひとつとして考えられる。

考察

- ・園の保育理念、保育方針、保育目標など、一人ひとりの理解、内容確認が必要である（4つの柱への理解、特に食育への評価が低い）
- ・常勤職員については、具体的に不明瞭を解決し職員会議や園内研修の場でお互いに共通理解をはかる。
- ・常勤職員と非常勤職員との格差が見られる。

今後の見通し

- ・職員会議や研修時に自分たちの自己評価についての時間をもっていく。
- ・園の保育理念、方針、目標などの読み合わせをする事で職員同士の認識を高めていくようにしたい。
- ・4つの柱については、細かく確認し、職員個々の認識をきちんとさせる。
- ・全体的に保健衛生の部分が理解できていない職員がいた為、感染予防研修などでの報告書などの利用を再検討するようになっていきたい。
- ・常勤職員、非常勤の打ち合わせの時間を設け、意思の疎通を図っていくようにしたい。